



# 佐工だより

佐賀県立佐賀工業高等学校 総務部発行 第340号 (2020年12月)



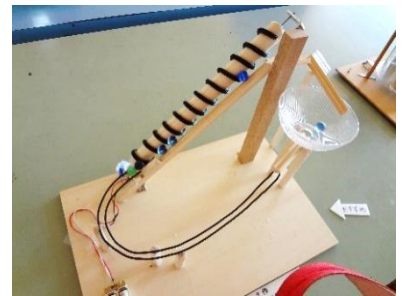
いよいよ12月、コロナに明け暮れた2020年も間もなく終わりです。オリンピックをはじめ、さまざまなことが中止や延期になり、私たちの身近なところでも、休校、ものづくり大会の九州大会・全国大会の中止、インターハイの中止、国際交流行事の中止などといった影響がありました。でも日常に復した学校生活では学習に部活動に行事に一生懸命取り組み、みなさん一人一人が、日々昨日の自分を越えて成長したはずです。

## 佐工祭(文化祭)

美術部による力作大パネルを背に挨拶する生徒会長の森魁威人君



11月13日(金)、木々が美しく染まる秋の日、『赤秋～燃え上がる佐工祭～』と銘打って第73回佐工祭「文化祭」が行われました。建築科2年の生徒諸君によって中庭に設けられた開放的な野外ステー



電気科学部の電動無限ループは、ビー玉が上っていくところが面白い。

ジを中心会場として、イベントが繰り広げられました。ステージを飾ったのは、この佐工祭宇宙の熱気と興奮を表現したかのようなパネル。美術部員による渾身の作です。

3年生はカレー屋、たこ焼き屋、冷やしパイン屋などの模擬店を準備し、1、2年生はモザイクアート、プラネタリウム、お化け屋敷など、工夫を凝らしたクラス展示を行いました。

中庭ではアームレスリング大会、カラオケ・パフォーマンス大会、佐工生の主張が催され、どれも盛況で、出る人も見る人もおおいに楽しみました。そして閉会式でのスタンプラリー抽選会、最後の最後まで、余すところなく楽しみ尽くした文化祭でした。



戦車の砲身を支える部分には、自分たちで旋盤加工した部品を使用しています。さすが！



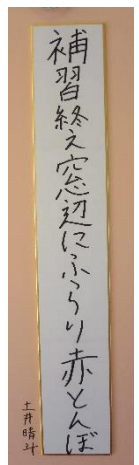
膨大な量の段ボールでできた迷路。難しかったです。



スタンプは手作り。閉会式でのスタンプラリー抽選会は大いに盛り上がりました。



ロボット研究部のサッカーロボット



# 工場見学

## 機械科2年、電気科2年、情報システム科1年

毎年6月に全校一斉に行われる工場見学が、今年は科ごとに10月から11月にかけて別々に行われました。皆さんの感想を見学報告書から抜粋して掲載します。

### 機械科2年 見学先：森鉄工株式会社・東亜工機株式会社 見学日：10月28日

◆「工場見学をしてみて、もっと勉強をしなくてはならないと思いました。(北村恭章君)」◆「森鉄工が作ったプレス機を東亜工機が使っていたように、いろいろな工場がつながっていることがわかりました。(山口遥暉君)」◆「自分たちの作業する場所がきれいだとやる気も出て、仕事の効率が上がるということを感じ取れました。それに一人一人がきびき動いていて、ちゃんと自分のやることを理解しているんだなと思ったので、自分も実習の時に見習おうと思いました。(真子大雅君)」◆「すべての従業員が身だしなみをちゃんとしていました。こういうことが大切なんだと思いました。(真崎陽哉君)」◆「森鉄工の社員のほうが、習うことすべてとあと英語とおっしゃっていたので、専門教科をしっかり勉強し、そして英語もある程度話せるように、学校生活で頑張っていくたい。(橋本泰希君)」◆「どちらの企業もとてもすごい企業で、みなさんとても熱心に仕事をしていました。また話し合いながら仕事をしている場面もあったので、自分の勉強や部活の時に話し合いながら、協力し合っていきたいと思っています。(中野優君)」◆「実習の時に、仕事で働いているような気持ちで取り組もうと思った。意欲のある人が欲しいとおっしゃっていたので、もっと意欲的に取り組みたい。(中尾颯汰君)」◆「実習を行うときには製品と一対一で向き合い、わからないところがあれば教えてもらいながら最高の製品が作れるように頑張ろうと思った。高校での勉強がとても大切だということが身に染みて理解できた。(木村拓哉君)」◆「2年目くらいの人が溶接をしているのを見学させてもらった。見たら、すごくきれいでした。自分も実習を丁寧に、きれいな製品を作りたいです。(飯盛皓太君)」◆「実習のものよりもほ



んどすべてのものが大きくて、溶接も立ててしているのにとってもきれいでした。森鉄工では部品ではなく、機械自体を作っていることに驚きました。今後の実習では、形をきれいに、寸法通りに作れるように意識してしたいと思います。(大久保風文己君)」◆「英語がとても大事だと知ったので、これからは英語の勉強を頑張りたいと思いました。自分はまだまだ知らないことがたくさんあることを認識し、もっといろいろなことを知りたいと思いました。(大坪琉星君)」◆「どちらの会社も日本だけでなく、海外にもその技術が認められていて、たくさんの国に輸出されているということでした。鹿島にそんなすごい会社があるなんて知らなかったです。(木室恵太郎君)」◆「直接働いている人たちの技術を見て、精度とスピードが桁違いだと思いました。自分が将来あそこまでのレベルに行けるのか不安にもなるし、自分が作った物を販売するということは責任がとても重いと改めて思いました。これからの授業ではもっと気を引き締めていきたいと思っています。(黒田慧士君)」◆「とても熱心で集中して作業をしていらっしゃるのを見てわかりました。また作業のスピードもすごく速くてすごかったです。自分も授業や部活などに集中して取り組んでいこうと思いました。(白武昇磨君)」◆「工場を見学して、自分は協力して一つのものを作ることを、工業が好きだということを感じました。この好きという気持ちを、日頃の実習の時に楽しいと思えるようにしていこうと思いました。(原田拓真君)」



\*\*\*\*\*

### 電気科2年 見学先：大電株式会社・吉野ヶ里メガソーラー発電所 見学日：11月4日

■「大電で驚いたことは、ごみが1つも落ちていないということです。自分たちの教室にはごみが落ちているので見習いたかったです。(石井大裕君)」■「2つの会社の方々是指差呼称を徹底していたり、笑顔で人に接していたりなど、いくつか共通点があり、社会に出たときにこういうことは大切なんだなと思いました。(石橋直武君)」■「いろいろな事を徹底して行動されているのを見て、自分もしないといけないと思いました。例えば指差点検などで確認することで、間違いなどを少なくする工夫だとわかったので、これからいかしていきたいと思います。(小島祥暉君)」■「いつも



自分らが切ったり曲げたりしているケーブルの製作工程を見ることができました。作業はほとんど自動で行われ、人がする細かい点検などは、小さくてもとても重要だったりするところもあり、集中力を使いそうな仕事場でした。(立石大宙君)」■「2つの工場に行ったことで、自分がどういった仕事をするかのイメージをつかむことができたので活かしていきたいです。(宮本凱生君)」■「工場内を案内してもらっている時に、ごみが一切落ちていないことに気づきました。そして床がとてもつるつるしていました。このことから、今から掃除をしっかりするくせをつけていきたいと思います。(島歩夢君)」■「あいさつや返事が、社会では当たり前できないといけないと実感しました。(原昇大君)」■「どちらの会社の方も、人と話すときにはきはきとわかりやすいように丁寧に話していらっしゃるのを見て、自分が社会に出るときに必要なことはコミュニケーション能力だと学びました。(柳川涼翔君)」

\*\*\*\*\*

### 情報システム科1年 見学先：佐賀エレクトロニクス株式会社・福博印刷株式会社 見学日：11月6日

●「佐賀エレクトロニクスで一番印象に残っているのは、『会社も地域に生きている』という言葉です。とても心にきました。(江頭楓君)」●「今回行った2つの会社で、資格より人間力がある人が良いということがわかり、心に残りました。(大塚瑞輝君)」●「工場の中に人があまりいなくてびっ

くりしました。それだけ人の手を使わないで機械を動かしているのすごいなと思いました。一人一人が熱心に仕事をされていて、『仕事』というものの大変さや厳しさを知りました。(小川颯介君)」●「今回の工場見学でわかったことは、チームワークの大切さと全力で頑張ることです。(高田悠馬君)」



●「どのような人材が求められるのかを質問したときに、能力がある人よりもやる気がある意欲的な人だというふうに言われました。自分は資格も大切だと思いますが、何事も意欲をもってできる人になりたいと思いました。(掛林直斗君)」  
●「2つの会社に共通していたことは、職場がとても整頓されていたことと社員のみなさんがやる気に満ちあふれていたことでした。自分は整理整頓が苦手なので、そこをまず頑張りたいです。(川崎海吏君)」  
●「『時給分の働きをしてもらわないと困る』という話が頭に残りました。この言葉は当たり前のように聞こえますが、本当に働いている方が言われるだけで言葉の重みが全く変わり、とても現実的に聞こえました。2つの会社とも新しいことに挑戦していて、次代に合わせて行動していたので、そこを自分も見習って、先のことを考えた行動ができるように勉強なども頑張りたいと思いました。(小峰悠稀君)」  
●「私達は日頃から身の回りの整理整頓はしなければいけないと言われているけれど、今回の工場見学で先生方が言われていることは将来の自分たちのためになるものだと思えました。(田中翔琉君)」  
●「AIは身近なものに使われていてすごい技術だということが分かりました。AIについて興味を持ったので、これからもっと調べていろいろ

るなことを知りたいなと思いました。(樋口愛梨さん)」  
●「社内の雰囲気が楽しそうで、それぞれの社員はやり甲斐を感じて仕事をしているのかなと思いました。(福田康介君)」  
●「佐賀エレクトロニクスには1週間分のゴミの展示がありましたが、僕の1日のゴミより断然少なかったです。会社がうまく成功し、毎日がうまくいっているのは、一人一人の心がけがすごいからだと思いました。(宮崎源之助君)」  
●「印刷会社なのにAIの話が始まって驚いた。カラスが来たことを認識して追い払うAIも実用性があるってすごかったけれど、どのくらい眼鏡が似合っているかを判断するAIもすごかったです。(山下竜之介君)」  
●「『迷ったらやってみること、あとは選んだ道を正解にするために行動するだけ』という言葉がとても心に残りました。どれが正解かを選ぶのではなく、自分が選んだ道を正解にするために努力することはとても大切だと思いました。(矢山一翠君)」  
●「中学校から『掃除と服装はきちんとしなさい』と言われてきたけれど、今回の工場見学で、言われてきたことは正しいと思いました。これからの学校生活では掃除と服装はもちろん、他のこともきちんとやっていたいと思いました。(吉田享介君)」

皆さん、いい経験をしてきた模様。この気持ちを忘れず、日々の努力の原動力としましょう。

## 「新しくて古い電子科」 剣菱 裕先生

職員によるリレーエッセイ、第4回の今回は電子科の剣菱裕先生が原稿をお寄せくださいました。



今年度、電子科が新設(再設)されて、電子科長と担任を兼務しています。電子科の学科の歴史については、創立100周年記念誌「星霜百年」の中で新設当時の学科長の記事に見ることができます。記事によれば「戦後電子技術の飛躍的な進歩により、電子技術者を必要とする産業界の要望に応えるため、昭和37年4月に電子科が新設され、初年度学科長を含めて3人でスタートしました。先生方は、教室棟実習棟の施設設備の充実に努めるとともに、一丸となって生徒指導、学習指導の充実に努力し、新設の電子科を既存の他の学科に比べて決して見劣りのしない科にしたい、むしろ優れた科にしたという情熱と闘志をもって頑張りました。生徒諸君もそれに応じて努力し、成果を上げることができました。また昭和39年11月に郵政省の許可を受けて実験無線局を開局し、生徒の実験実習に供するとともに無線技士の国家試験に挑み多くの技師を輩出しています。」とあり、当時の先生方の熱い思いを感じることができます。

その電子科も時代の流れとともに平成17年に電子情報科へと学科改編していきます。偶然とはいえ当時、電子科の学科長をしており、歴史と伝統がある電子科の資産をどのような形で電子情報科へ残そうか当時の科の先生方と連日、協議を重ねたことを思い出します。学科改編から15年、今年度、思ってもみないことに新設される電子科の学科長の職を任せられました。これも何かの縁なのかなと思っています。新設(再設)された電子科を、以前のような活気ある、高い希望・意志を持った科、佐賀工業高校電子科の遺伝子を受け継いだ新しい時代に合った科を作っていきたいと思っています

新しいものを作ることは多大なエネルギーを必要とします。先生方・生徒諸君の協力が必要です。ぜひ新しい佐賀工業高校の歴史を作るために、ご協力をお願いします。

最後になりますが、記念誌の中で先輩方の記事を読み返してみると、佐賀工高への熱き思いが伝わってきました。ぜひ一度、在校生の皆さんも佐賀工業高校の歴史に触れることをお勧めします。



# 生徒会役員 新旧交代

旧生徒会役員諸君



新生徒会役員諸君



例年ですと3年生の生徒会が佐工祭のすべてを中心となって取り仕切りますが、今年は新型コロナウイルスの流行の影響で分けて開催し、3年生徒会が体育祭、2年生徒会が文化祭を企画・運営をしました。3年生役員諸君は体育祭を以て引退したわけですが、昨年度末からはこれまでのやり方を踏襲できず、リモートを使ったり、開催の方法を考えたり、いろいろな苦労があったことと思います。でも、工夫して行うことを楽しんでいるようにも見え、大変頼もしいようすでした。体育祭も文化祭も全校生徒、職員、皆大いに楽しみました。ご苦労様でした。

## 12月行事予定

日	曜	行事予定	日	曜	行事予定
1	火	期末考査	16	水	⑦県研究指定校事業に係る講演会
2	水	③服装頭髪検査 ④防災教育講話・表彰 ⑤写真撮影(3年) ↓ スクールカウンセラー来校日	17	木	
3	木	インターンシップ(2年)	18	金	三者面談 クラスマッチ(3年)
4	金	インターンシップ(2年)	19	土	
5	土		20	日	第一種電気工事士実技試験
6	日		21	月	クラスマッチ(2年)
7	月	インターンシップ(2年) キュボラ実習(キ3-2)	22	火	クラスマッチ(1年)
8	火	防犯講話(1年)、進路学年集会(2年)、クラス指導(3年) 工業系生徒学習成果発表会(佐賀市文化会館)	23	水	↓
9	水	県内企業合同説明会(2年) スクールカウンセラー来校日	24	木	終業式 スクールカウンセラー来校日
10	木	①②③授業 芸術鑑賞会(佐賀市文化会館)	25	金	冬季休業(～1月7日)
11	金	パソコン利用技術検定	26	土	
12	土	第二種電気工事士実技試験	27	日	
13	日		28	月	仕事納め
14	月		29	火	
15	火	献血セミナー(3年)	30	水	
			31	木	

佐賀県立佐賀工業高等学校

所在地 〒840-0841 佐賀市緑小路1-1

TEL 0952-24-4356

FAX 0952-25-7043

(ホームページ)

<http://www.education.saga.jp/hp/sagakougyoukoku/>

**編集後記** 文化祭、楽しかったですね。各階のペランダから見下ろす中庭は、劇場さながら。「オタ芸」なるものは聞くのも見るのも初めてでした。池田樹君が光の棒を華麗に操り、激しく踊る姿を見て……わ～肩こりによさそう、と思いました。でもすでに肩の部品がああ運動に耐えられそうにありません。とにかくかっこよかったです。ところでダンボール財布ですが、抽選ではずれた人、自分で作ってみたい人は、ぜひJRC部へ！ K